

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5年 6月 26 日

福島県知事 殿



提出者

住所 福島県会津若松市門田町工業団地6番地
 氏名 代表取締役社長 後藤 祐治
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 0242-38-9000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 令和 4年
 度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	オン・セミコンダクター会津株式会社
事業場の所在地	福島県会津若松市門田町工業団地6番地
事業の種類	中分類 電子部品・デバイス・電子回路製造業 小分類 電子デバイス製造業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和 4年 4月 1日～令和 5年 3月 31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	8,232 t	全処理委託量	1,674 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	1,691 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	1,517 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	63 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	6,673 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	21 t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 汚泥)

項目	実績値	自ら中間処理した量	自ら直接利用した量	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投人処分した量	自ら中間処理した後 自ら理立処分又は 海洋投人処分した量	自ら中間処理した後 自ら理立処分又は 海洋投人処分した量	自ら中間処理した後 自ら理立処分又は 海洋投人処分した量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	自ら中間処理した後 自ら理立処分又は 海洋投人処分した量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量		
①排出量	6,726	④	6,112	②	0	⑥	524	⑧	0	⑩	630	⑫	447
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	⑤	0	③	0	⑦	6,112	⑨	0	⑪	0	⑬	0
⑤自ら熱利用を行った量	0	⑥	6,112	①排出量	6,726	⑧自ら中間処理した後 自ら直接利用した量	0	⑩自ら中間処理した後 自ら直接利用した量	0	⑫自ら中間処理した後 自ら直接利用した量	0	⑭自ら中間処理した後 自ら直接利用した量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	6,112	⑧自ら中間処理した後 自ら直接利用した量	0	⑨自ら直接埋立処分又は海洋投 入処分を行った量	0	⑩自ら中間処理した後 自ら直接利用した量	0	⑪自ら中間処理した後 自ら直接利用した量	0	⑬自ら中間処理した後 自ら直接利用した量	0	⑮自ら中間処理した後 自ら直接利用した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投 入処分を行った量	0	⑩自ら中間処理した後 自ら直接利用した量	0	⑪優良認定処理業者への処理委 託量	630	⑫再生利用業者への処理委託量	630	⑬熱回収認定業者への処理委託 量	0	⑭熱回収認定業者以外の熱回收 を行う業者への処理委託量	0	⑮自ら中間処理した後 自ら直接利用した量	0

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧ 0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
⑫ 630

⑪のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬ 0

⑪のうち熱回収認定業者
以外の熱回収を行う業者への
処理委託量
⑭ 0

⑪のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑮ 0

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃油)

①排出量	0.6	項目	実績値
②+③自ら再生利用を行った量	0	④自ら中間処理した量	0
⑤自ら熱利用を行った量	0	⑥自ら中間処理により減量した量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0	⑧自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑨全処理委託量	0.6	⑩うち優良認定処理業者への処理委託量	0.6
⑪再生利用業者への処理委託量	0.2	⑫熱回収認定業者への処理委託量	0.2
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量	0.0
⑮有機物量	0.6	⑯自ら中間処理した量	0.6
⑯自ら直接再生利用した量	0	⑰自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	0
⑰自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	0	⑱自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	0
⑲自ら中間処理した量	0	⑲自ら中間処理した後 直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	0.6
⑳①のうち再生利用 業者への処理委託量	0.2	⑳①のうち熱回収認定業者への 処理委託量	0.2
㉑①のうち熱回収認定業者以外 の熱回収を行なう業者への処理 委託量	0.0	㉑①のうち熱回収認定業者への 処理委託量	0.0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃酸)

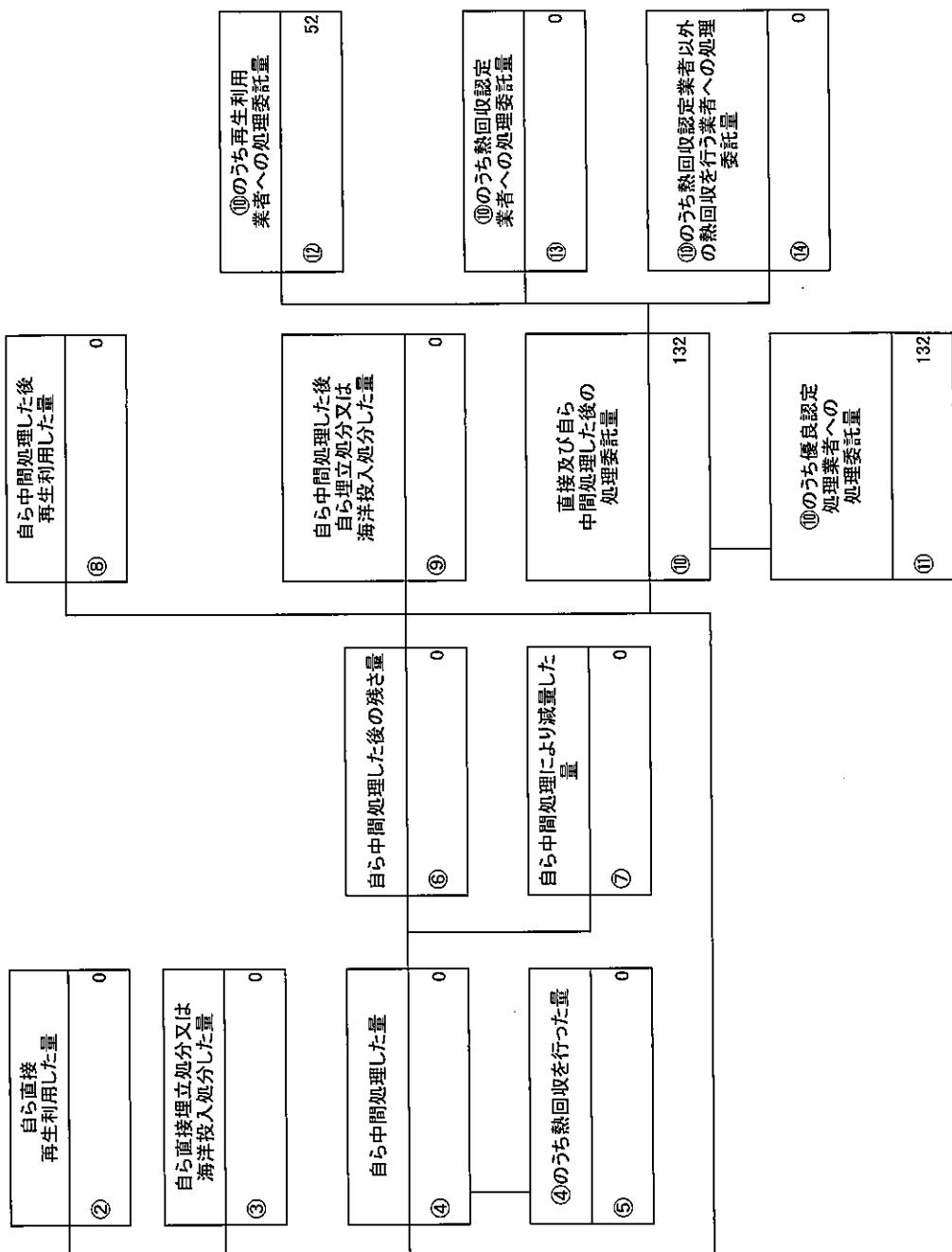
項目	実績値
①排出量	420
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱利用を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投 入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	420
⑪優良認定業者への処理委託 量	394
⑫再生利用業者への処理委託量	26
⑬熱回収認定業者への処理委託 量	0

項目	自ら中間処理した量
④	0
⑥	0
⑦	0
⑧	0
⑨	0
⑩	420
⑪	0
⑫	394
⑬	26
⑭	0

項目	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量
②	0
③	0
⑫	394
⑯	0
⑰	0
⑱	0
⑲	0
⑳	0

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)

項目	実績値
①排出量	132
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱利用を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処を行った量	0
⑩全処理委託量	132
⑪優良認定処理業者への処理委託量	132
⑫再生利用業者への処理委託量	52
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回取を行う業者への処理委託量	0



（産業廃棄物の種類：金属屑） 計画の実施状況

計画の実施状況	
不要物等発生量	有償物量
	排出量
	①
	0.9
項目	実績値
①排出量	0.9
②+③自ら再生利用を行った量	0
④自ら熱利用を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.9
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.9
⑫再生利用業者への処理委託量	0.9
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収業者への処理委託量	0

金屬屑の種類

自ら直接 再生利用した量	②	0
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	③	0

(第2面)

自ら中間処理した後 再生利用した量	(8)
	0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	(10)	0.9
-----------------------------	------	-----

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	(1)	0.9
-----------------------------	-----	-----

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラス屑・コンクリート屑・陶磁器屑)

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)

計画の実施状況

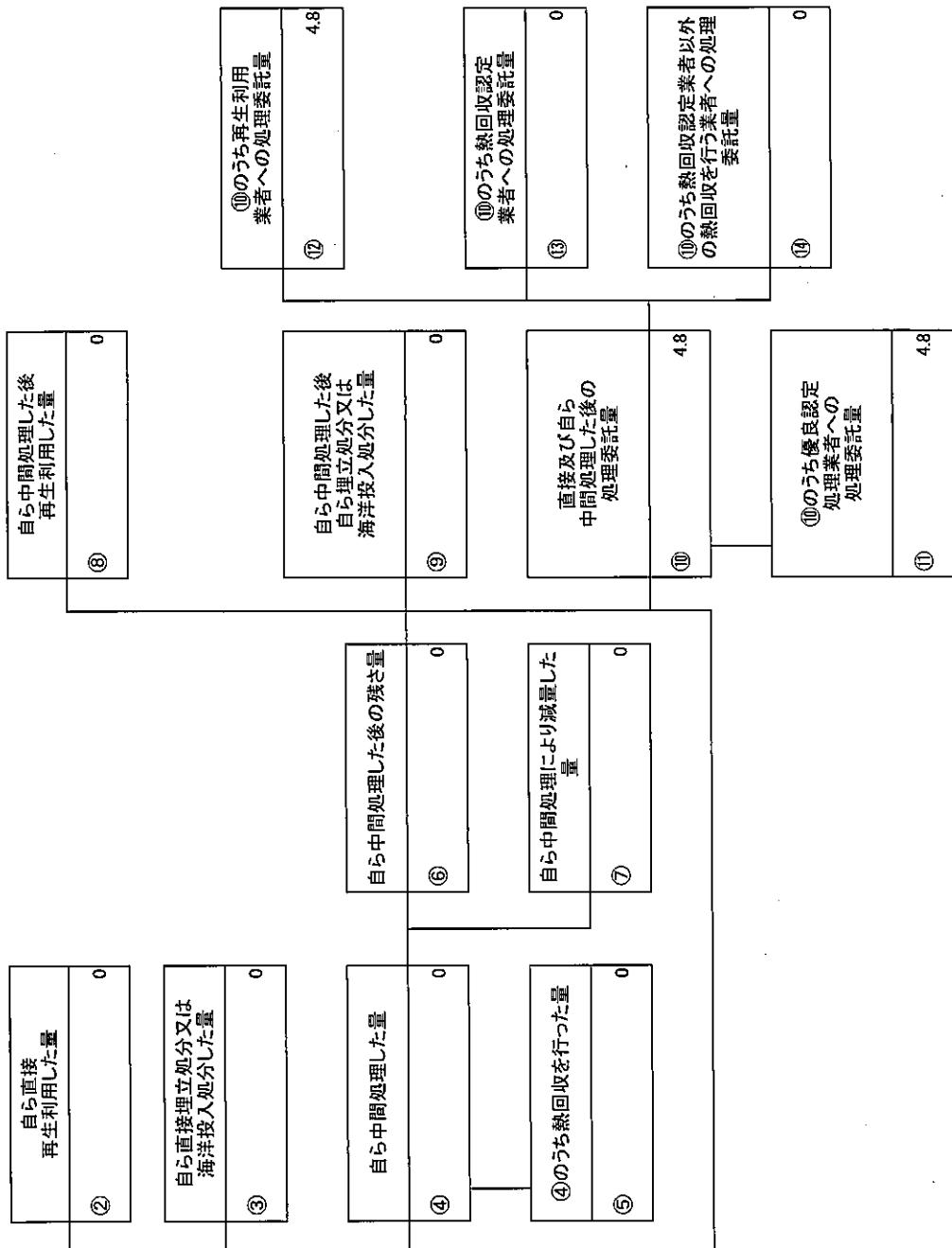
不要物等発生量	
有償物量	
排出量	35.2
①	
自ら直接 再生利用した量	0
②	
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	0
③	
自ら中間処理した量	0
④	
自ら中間処理した後の残さ量	0
⑥	
自ら中間処理により減量した量	0
⑦	
④のうち熱回収を行った量	0
⑤	
②+⑥自ら再生利用を行った量	0
⑥自ら熱利用を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
⑧自ら埋立処分又は海洋投 入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	35.2
⑪優良認定処理業者への処理委 託量	35.2
⑫再生利用業者への処理委託量	19.3
⑬熱回収認定業者への処理委託 量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回取 を行ふ業者への処理委託量	15.9

(第2回)

自ら中間処理した後 再生利用した量	0
⑧	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	0
⑨	
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	19.3
⑪	
⑪のうち再生利用 業者への処理委託量	0
⑫	
⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量	0
⑬	
⑪のうち熱回収認定業者 以外の熱回取を行ふ業者 への処理委託量	0
⑭	
直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	35.2
⑪	

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 木屑)

項目	実績値	
①排出量	4.8	
②+③自ら再生利用を行った量	0	
⑤自ら熱利用を行った量	0	
⑦自ら中間処理により減量した量	0	
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	
⑩全処理委託量	4.8	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.8	
⑫再生利用業者への処理委託量	4.8	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。